

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2022年 6月 16日

事業所名:かたつむりハウス道場南口

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保できている。	子どもの人数にあったスペースだったと思う。	空間が広く、個室がなかったため、大人数が苦手な子はしんどい空間である。個室のスペースを確保していきたい。
	2 職員の適切な配置	子どもの人数に応じて配置している。	十分に足りていたと思う。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	入口からバリアフリーにしている。視覚支援でわかりやすく表示している。	一人一人にあった掲示がされたりしていた。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	時間を決めて、掃除や消毒を行っている。	物が最小限だった。	今後も定期的な掃除や消毒を行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	全職員に連絡し、参加をし、意見を出してもらっている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナの影響もあり、行えていない。		コロナが落ち着き次第、行っていきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修はあまりできていない。		今後は積極的に研修の機会を設けていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	行っている。	面談でゆっくりと話を聞いてもらった。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	作成している。	されていたと思う。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	行っている。	されていたと思う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施できるよう、努力している。	されていたと思う。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員や保護者から意見を聞き、取り入れている。	わからない。	多くの意見を取り入れながら、今後も活動を行っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	行うよう努力している。	できていると思う。	平日と休日でメリハリをもった支援を行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員や子どもたちからやってみたいことを聞き、工夫している。	いろんなプログラムがあり、子どもが楽しんで参加している。	今後も様々な活動内容を取り入れていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	業務日報に記載し、口頭でも一日の内容を伝えるよう、徹底している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日にあったことはその日に情報共有できるよう努力している。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録はその日に書くようにしている。支援に課題が見られたときは話し合いを行っている。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度行っている。必要に応じて随時行うようにしている。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	参加している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	行っている。		集団活動に参加できるように支援を行い、保育園等の利用に繋げていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスで行っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	できるだけ参加できるよう、努力している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナの影響もあり、行えていない。	コロナの影響もあり、そのような機会はなかった。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの影響もあり、行えていない。	コロナの影響もあり、そのような機会はなかった。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行っている。	説明してもらっている。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	行っている。	説明してもらっている。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施している。	トイレトレーニング等を一緒にしたりしてもらった。	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	お迎えの際や面談時に行っている。	お迎えの時等に話を聞いてもらったりした。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時行っている。	よく相談にのってもらった。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの影響もあり、行えていない。	実施されていない。	コロナが落ち着き次第、行っていきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	行うよう努力している。	わからない。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	行うよう努力している。	連絡ノートでのやりとりが主だった。	様々な方法での情報伝達を試していきたい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSや連絡ノートを利用し、情報を発信している。	行事予定等は事前に知らせてもらっていた。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分な対応をするよう、努力している。	十分な対応をしてもらっていたと思う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	定期的に研修を行い、周知徹底している。	周知されていない。	書類を配布する等、周知徹底するよう、努力していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施している。	連絡ノートで実施したことを知らせてもらっていた。	訓練を実施することを事前に知らせるようにしている。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2回行っている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に身体拘束については説明している。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	行っている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成し、会議で情報共有している。		